



《し尿処理場》 総額約7千万円をかけ、2カ年計画で、大和田町に完成しました。すでに、現在運転をしています。



《大和田生活館》 市内大和田町住民のため39年度に建築、炭礦閉山後の地域の人たちのレクリエーションなどに活用されています。



《老人福祉会館》 市議会事務局であった旧庁舎を改築、おとしよりの憩いの場としています。

市立総合病院完成子想図



ことしから市立総合病院建築 3億5千万円かけ地下1階地上4階建て

着々充実する福祉厚生施設

市は将来への発展のため基盤整備を続けていますがなかでも、とかく遅れているといわれる留萌市の福祉

厚生施設を充実するため、着々とその青写真が実現されつつ、あります。

福祉厚生施設の充実のなかでも、市立総合病院の実現は、留萌市民はもちろんのこと、留萌地方沿岸各町村の多年の念願でした。市では、早くからこの実現に乗り出し、建設資金の借入れ(起債)を申請していましたが、このほど総額三億五千万円が決定しました。

と場の移転新築
留萌市と畜場が、新しく市内大和田町に出来た。いままで、沖見町にあった畜場が、古くなった。と、将来の都市計画や処理量などを考え、約一千三百五十万円をかけ完成したものです。

このため、市では市立総合病院をことしから三年計画で、総額約三億六千万円をかけ、鉄筋コンクリート造りで、地下一階地上四階という、管内でも一番大きなものを建てることにしました。建てる場所は、すでに、ことしの四月に総合病院建設委員会、現在の市立病院本院裏の伝染病隔離棟敷地を中心として、建てられ、現在の病院あとは新病院が完全に落成したあとの広場にあてられることになっています。

ろいろ設備が充実されますが、管内ではじめてのエレベーターの設置をはじめ、病室病床の整備、眼科の開設、さらに約三千万円をかけ、近代的な医療機械を充実することなどが決まっています。



また、処理に使った汚水は、活性汚泥処理方式による浄化槽を造るなど、処理能力を増やすと同時に、より衛生的な処理ができることになりました。なお、道の許可がおりしだい年内に操業できますがこの完成によっていままで一日二十〜二十五頭の処理より出来なかったものが、約六十頭もの処理をすることができま

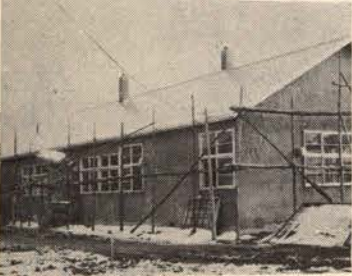


公民館と市民会館の性格をもった会館の建設は、社会教育を中心として欠くことのできない施設ですが、本年度7千万円の起債で建設を計画中でしたが、認可ならず、明年度建設をする計画です。



千鳥町児童館は、すでに、もと川南会館あとに建設が進められ、近く完成の予定です。

また、児童遊園地は、春日町と南町に、それぞれ200坪のものを完成します。



このほか、沖見町地区の交通便をはかるための瀬越乗降場の開設沖見町特定郵便局の設置、五十嵐町会館移転改築に伴う補助金の支出など地域の問題が解決されています。

五百戸にのぼる公営住宅

ご夫婦とお子さま—この水いらずの家庭のために、せいたくではないが明るく便利な住宅が欲しい。—こうしただれでもが持つささやかな願いを、少しでも多くの市民が実現できるようにと、市では毎年公営住宅を建てています。毎年市が建てる公営住宅は、年々その数が増え、現在市が管理している公営住宅は六百十八戸にのぼります。

さらに、四十一年度は七十六戸の建設を計画しています。

市では、住宅政策にはとくに力を入れ、三十九年度から留萌市公営住宅三カ年計画をたてています。すでに、初年度の三十九年度には八十二戸の計画を實現、本年度は八十二戸の計画に対し、国費一割留保のため危ぶまれましたが、これが解除されましたので計画通り建設、保留で遅れた十六戸を除き入居を終えました。

